

# 令和7年度以降の人口減少対策（ふくしま創生総合戦略）に関する新しい推進体制について

- 令和6年12月に更新した「福島県人口ビジョン」の人口目標である「2040年の県総人口150万人程度の維持」に向けては、次期「ふくしま創生総合戦略」の推進が極めて重要であり、令和7年度以降、「新しい推進体制」により地方創生・人口減少対策を戦略的に進めていく。

## ＜新しい推進体制＞

- 1 本庁と地方振興局の「連携・共創」を推進し、県庁一丸となって戦略的に人口減少対策に取り組めるよう、**本部員に全地方振興局長を加えた「ふくしま創生・人口戦略本部」を設置**
- 2 「ふくしま創生総合戦略」の取組評価・検証を一層強化するため、これまでの有識者会議の**メンバーを拡充した「ふくしま創生・人口戦略有識者会議」を設置**
- 3 500を超える企業、団体等が参加するふくしまSDGs推進プラットフォームを母体に、官民の「連携・共創」による取組を推進するための基盤となる**「ふくしま創生・人口戦略官民連携・共創チーム」を設置**

## 新しい推進体制

### ① 本省会議

#### ふくしま創生・人口戦略本部

- 本部長 知事
- 副本部長 副知事
- 本部員 (本庁) 全部局長 等 (出先) 全地方振興局長

連絡調整会議  
(議長：企画調整部政策監)

ふくしま創生・人口戦略ワーキンググループ  
(構成員：本庁関係課室・**全地方振興局**)

PT (ひと)

PT (暮らし)

PT (しごと)

#### ＜戦略重点プロジェクト(想定)＞

- 企業本社機能移転推進
- 女性活躍推進 (ジェンダー平等)
- 外国人材の受入・共生
- 人手不足対応
- 新しい働き方創出
- 情報発信強化 等

#### ＜関連予算＞

**新**人口減少対策加速化事業 (R7:140,000千円)

### ② 有識者会議

#### ふくしま創生・人口戦略有識者会議

- 有識者分野を拡大 (労働、観光 等) するとともに、「**若手・女性枠**」を新設し、若者の意見を進行管理に反映  
**＜11名体制⇒15名体制＞**
- 「ふくしま創生総合戦略」に基づく取組の評価・検証

### ③ 官民連携基盤

#### ふくしま創生・人口戦略官民連携・共創チーム

ふくしまSDGs推進プラットフォーム (分科会) 会員数：548団体 (R7.3.4時点)

＜参画メンバー＞  
・ 個別企業  
・ 団体  
・ 市町村 等



＜役割・機能＞  
・ 県の支援制度PR  
・ 企業等の (先進) 取組紹介  
・ セミナー・意見交換・交流

全体会 (年1回) ※個別にWGも開催

ひとWG

暮らしWG

しごとWG

各3回程度

#### ＜関連予算＞

**新**人口減少対策連携・共創推進事業 (R7:42,596千円)

ふくしま創生総合戦略の目指すべき姿の実現

福島県総人口150万人程度を維持

2030 2040